

富山市安全で安心なまちづくりの推進に関する
行 動 計 画

資 料 編
(令和4年)

富 山 市

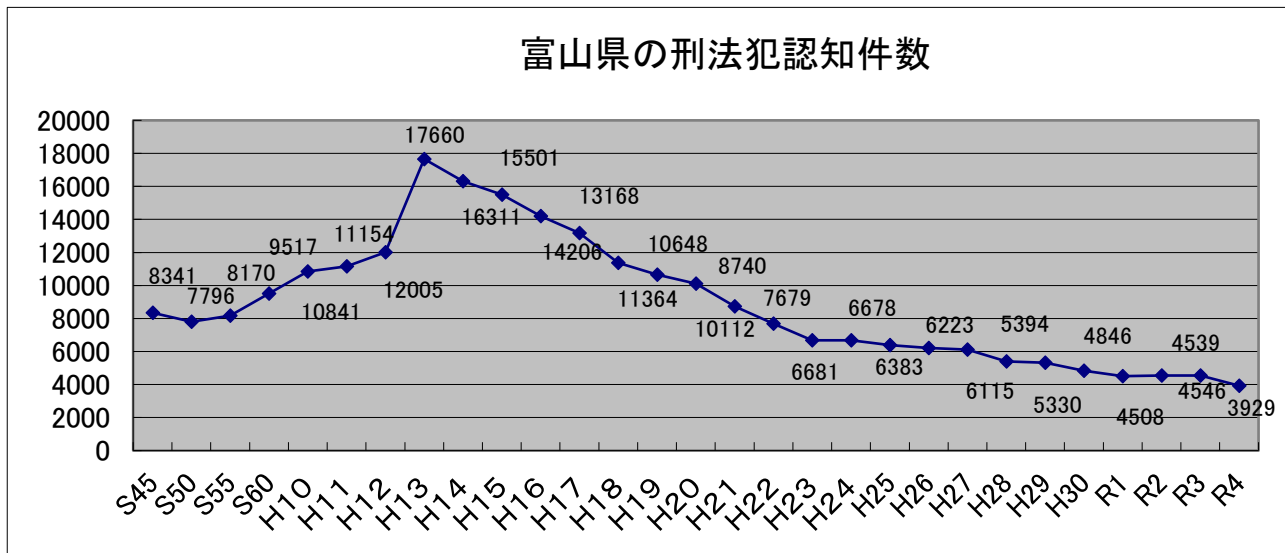
目 次

1	近年の犯罪情勢	1 P
	(1) 本県の刑法犯認知件数の推移	1 P
	(2) 本市の刑法犯認知件数の推移	1 P
	(3) 全国及び本県との比較	2 P
	(4) 本市の犯罪の特徴	2 P
	ア 罪種の内訳	2 P
	イ 窃盗犯の内訳	3 P
2	自転車盗・車上狙い及び住宅対象侵入の被害の状況	4 P
3	本市における万引きの発生状況	5 P
4	本市の防犯灯設置状況	6 P
5	自主防犯団体について	6 P
6	ふるさとみまもり事業について	8 P

1 近年の犯罪情勢

(1) 本県の刑法犯認知件数の推移

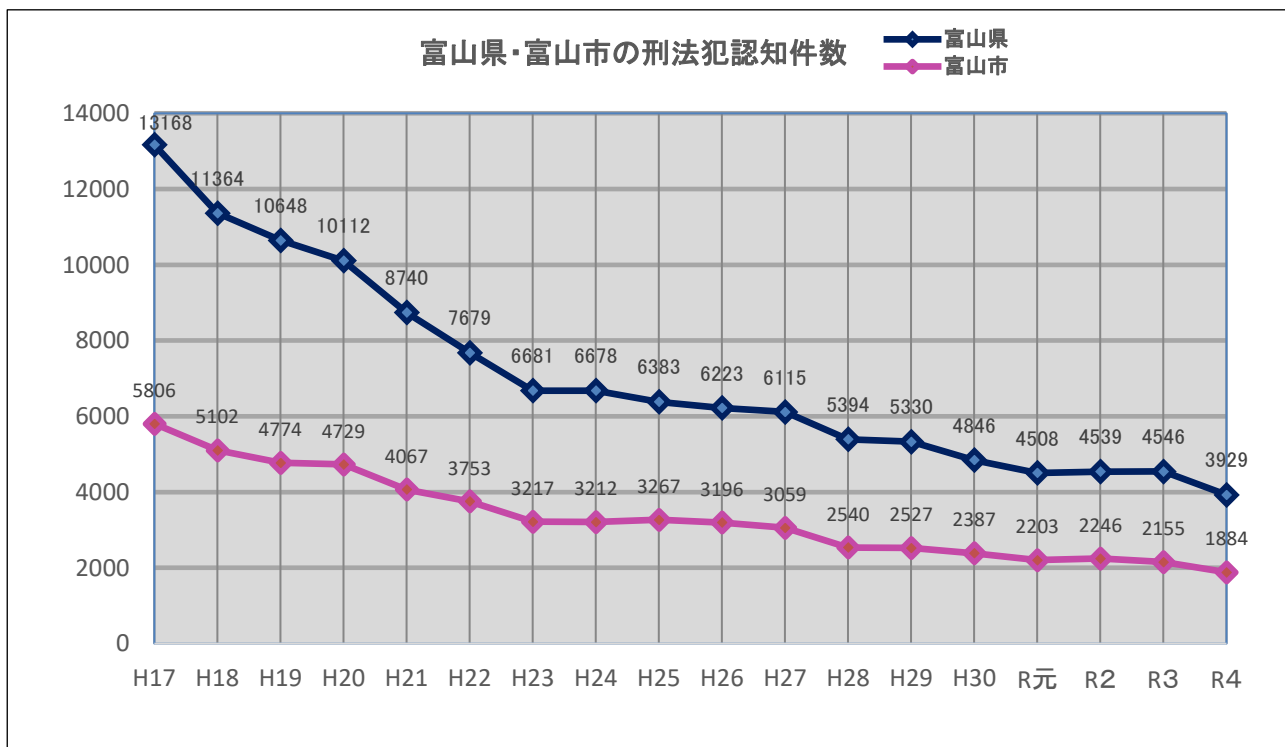
本県の刑法犯認知件数は、平成13年の17,660件をピークに、減少傾向にあります。



令和4年の3,929件は、本県の認知件数最少。

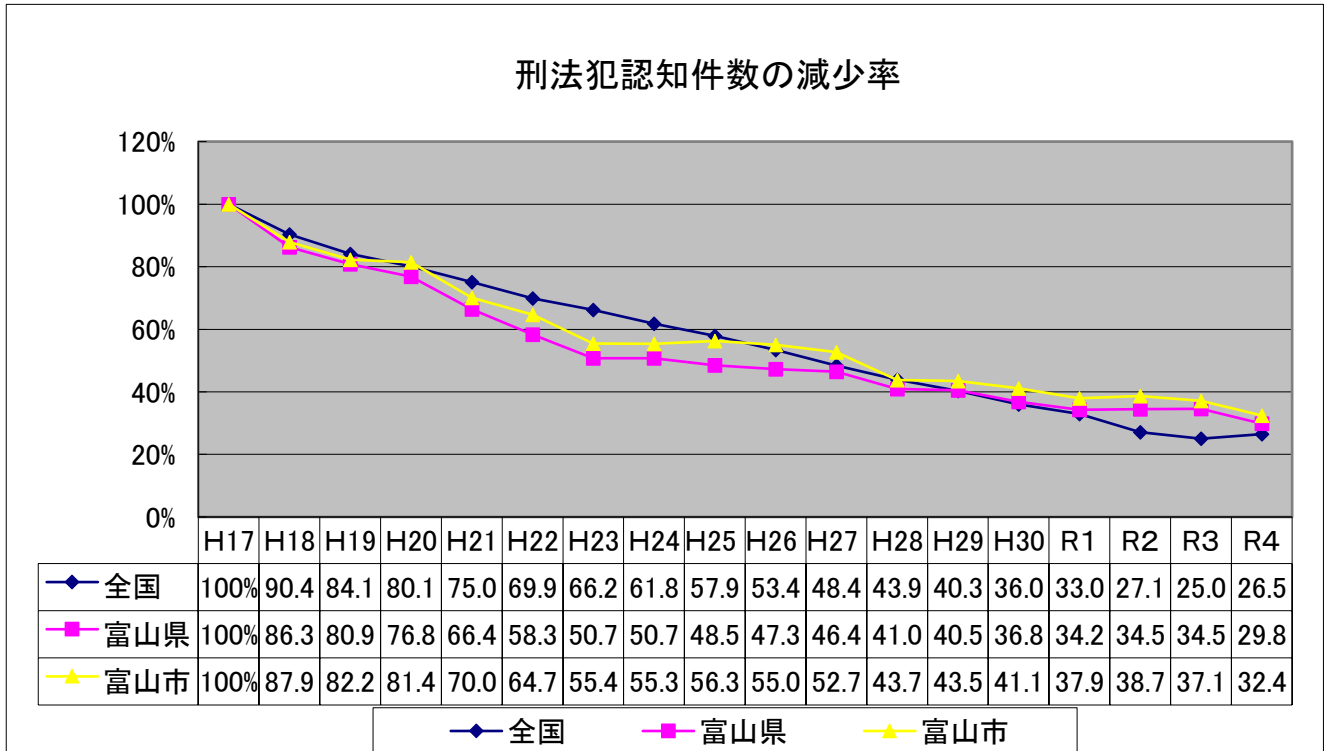
(2) 本市の刑法犯認知件数の推移

本市の刑法犯認知件数は、本県の推移と同様に減少しています。



(3) 全国及び本県との比較

平成17年の刑法犯認知件数を100%として、令和4年の刑法犯認知件数の推移を全国及び本県と比較すると、本市は、全国及び富山県よりも減少率が小さくなっています。

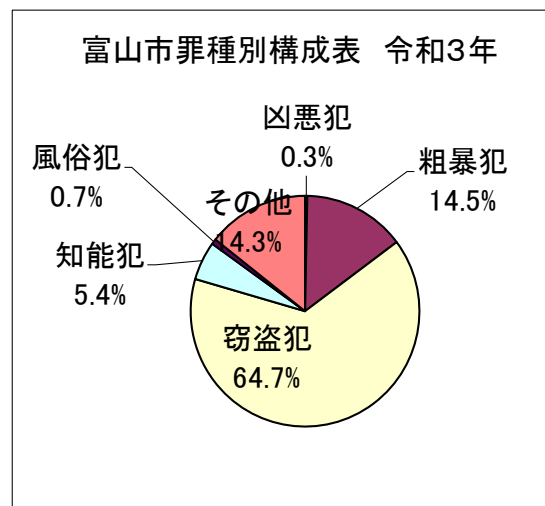
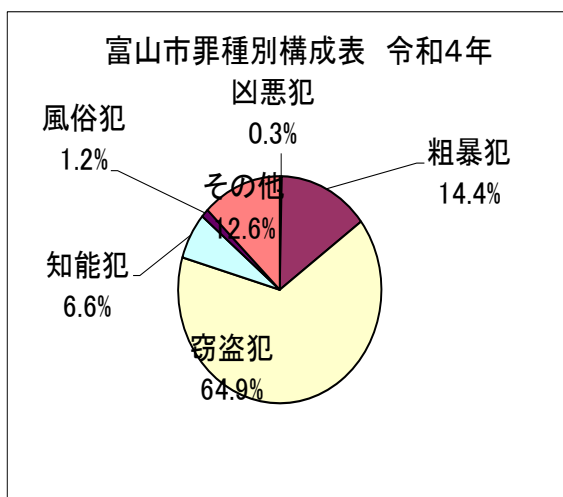


(4) 本市の犯罪の特徴

ア 罪種の内訳

令和4年は、「窃盗犯」が全体の約7割近くを占めています。

令和3年との比較では、内訳はほぼ同様となっていますが、「知能犯」「風俗犯」の割合が高まっています。



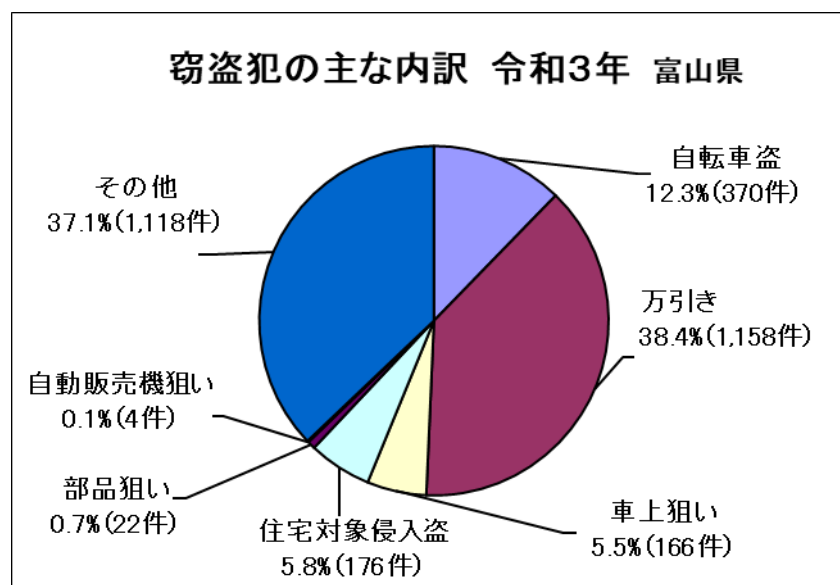
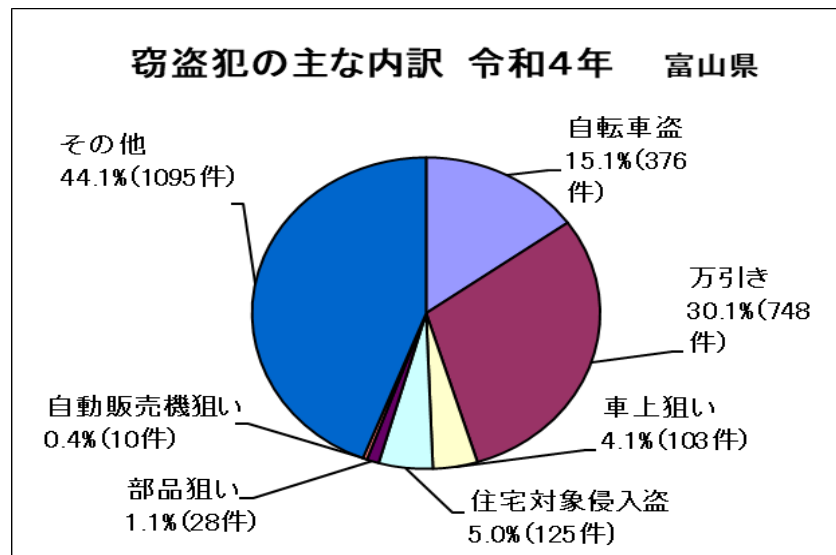
【罪種の解説】

- ① 凶悪犯・・・殺人、強盗、放火、強姦（ごうかん）
- ② 粗暴犯・・・暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合
- ③ 窃盗犯・・・窃盗
- ④ 知能犯・・・詐欺、横領（占有離脱物横領を除く）、偽造、汚職など
- ⑤ 風俗犯・・・賭博（とばく）、わいせつなど
- ⑥ その他・・・器物損壊、公務執行妨害、住居侵入など

イ 窃盗犯の内訳

自転車盗、万引き、車上狙い、住宅対象侵入盗という市民の身近なところで発生する犯罪が多く、令和4年では、これら4罪種の合計は、全刑法犯の34パーセント、全窃盗犯の約55パーセントを占めます。

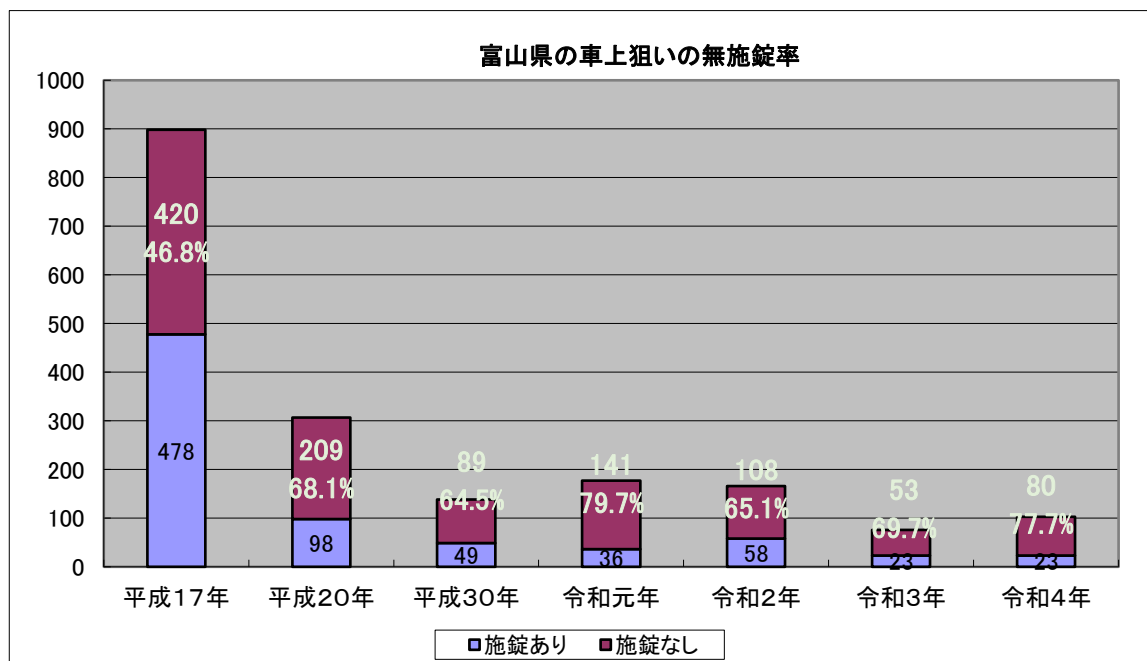
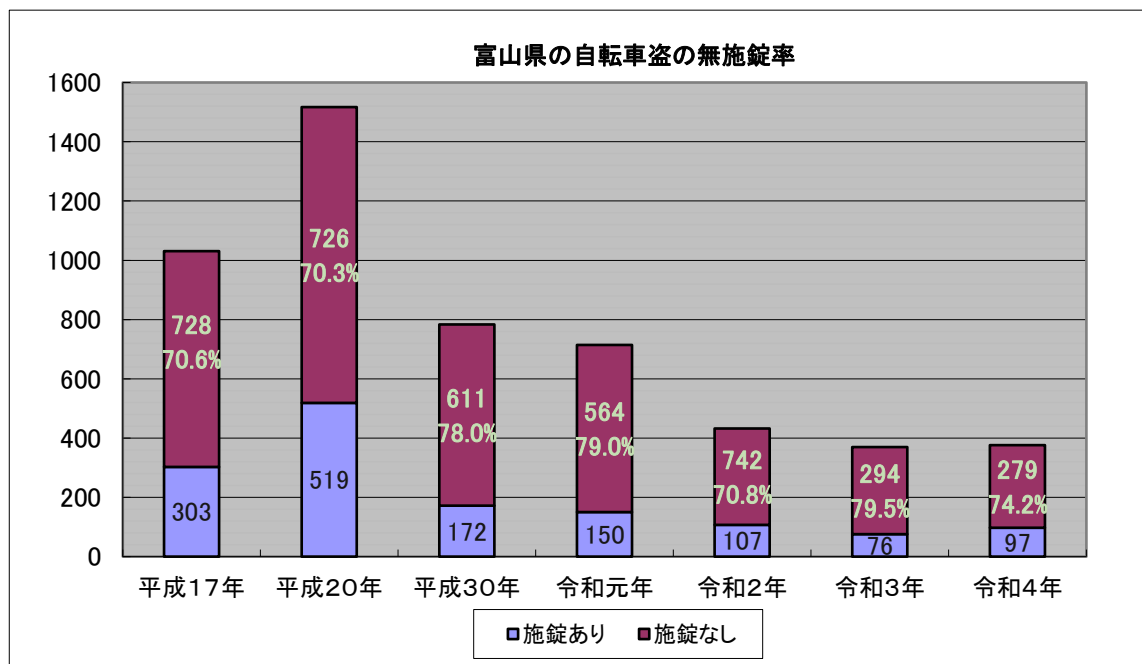
令和3年との比較では、部品狙いが増加しております。

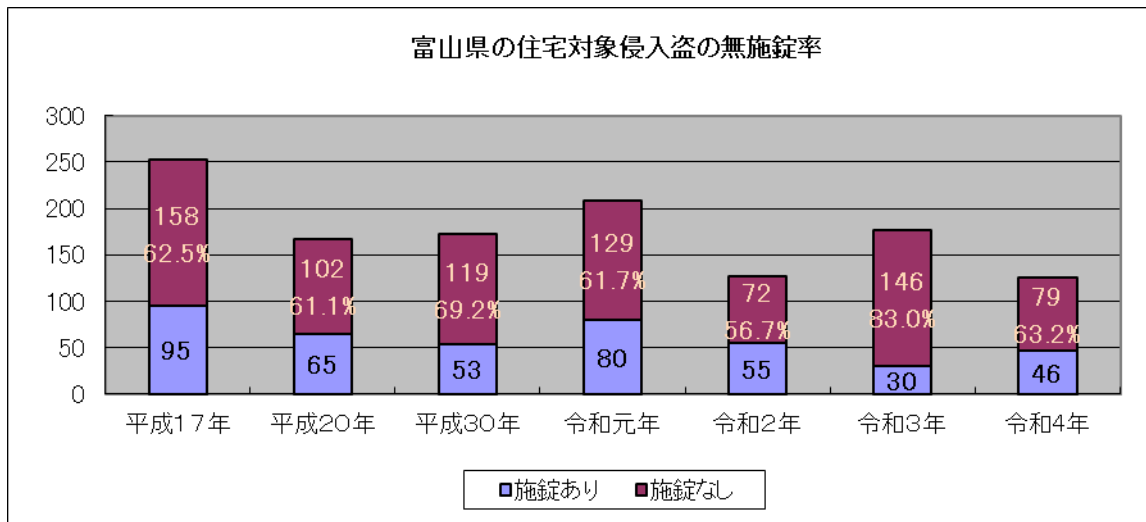


2 自転車盗・車上狙い及び住宅対象侵入の被害の状況

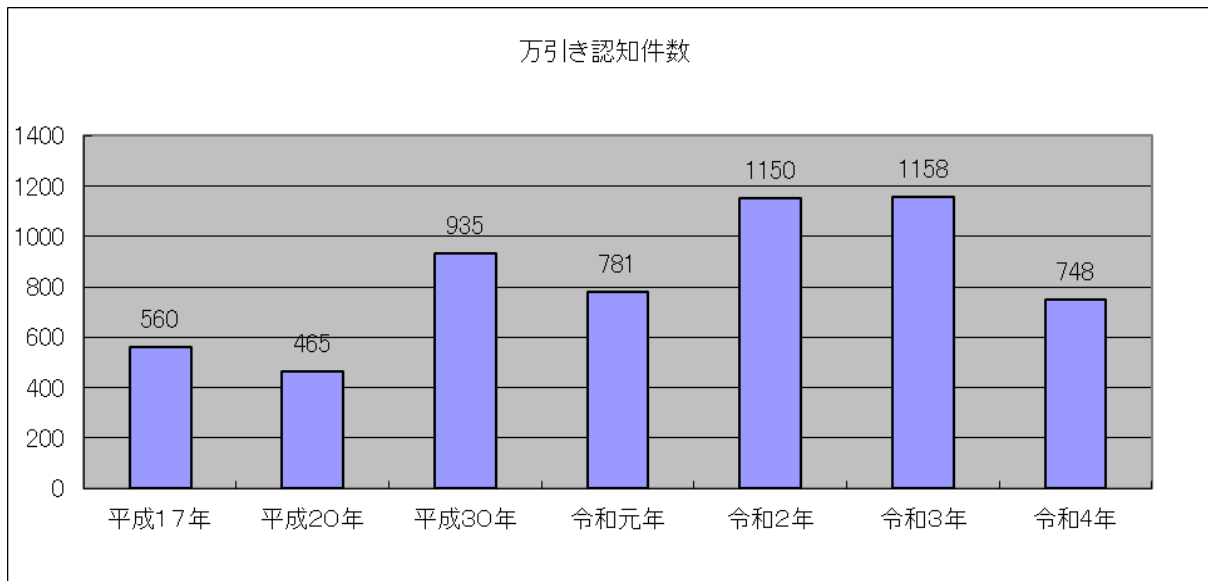
窃盗犯の中でも件数の多い自転車盗及び車上狙いの被害に遭った時の車両の状況を見ると、令和4年は平成20年と比較して被害件数は1/3程に減少しているが、無施錠の割合が高まっています。

また、住宅対象侵入盗についても、令和4年は平成20年と比較して、被害件数は3/4程に減少しているが、無施錠の割合が高くなっています。





3 本市における万引きの発生状況



4 本市の防犯灯設置状況

年度	設置数
平成18年度	45,883
平成19年度	46,662
平成20年度	47,123
平成21年度	48,020
平成22年度	48,708
平成23年度	49,243
平成24年度	49,710
平成25年度	50,175
平成26年度	49,472
平成27年度	49,799
平成28年度	50,291
平成29年度	50,676
平成30年度	50,777
令和元年度	51,113
令和2年度	51,441
令和3年度	51,566

5 自主防犯団体について

○市内4防犯協会

名 称	役 割	補助金
富山防犯協会	市内4警察署（富山中央・富山北・富山西・富山南）ごとに設置され、地域に根ざした防犯活動や、防犯意識向上のための啓発活動を実施し、犯罪の未然防止に努めている。	14,161,000 円
富山北部防犯協会		
富山西防犯協会		
富山南防犯協会		

○市内4防犯協会以外の自主防犯団体の推移

※団体数の（ ）内は民間で内数

年 度 別	団体数	役 割
平成16年度支援組織（支援事業開始年度）	38（1）	地域住民が「自分たちの地域は、自分たちで守ろう」という連帯感に基づき、自主的に結成する組織で、防犯教室に参加しながら、地域でパトロールを行う。
平成17年度	49（1）	
平成18年度	26	
平成19年度	14	
平成20年度	9	
平成21年度	9（1）	
平成22年度	8	
平成23年度	7	
平成24年度	0	
平成25年度	1	
平成26年度	2	
平成27年度	2	
平成28年度	5	
平成29年度	1	
平成30年度	2	
令和元年度	4	
令和2年度	0	
令和3年度	0	
令和4年度	0	
解散組織数	△13	
計	165（3）	

補助金の内訳

- ア 自主防犯組織結成時の補助 50,000円／組織
- イ 自主防犯組織活動補助 30,000円／組織
- ※ 令和4年度補助金額 4,920,000円

6 ふるさとみまもり事業について

1 目的

ふるさと見守り隊員が市内全域において、防犯や防災、道路・河川・公園等の点検パトロールを行うとともに、各種団体との連携を図りながら安全で安心なまちづくりを推進するものである。

2 事業内容

市内4防犯協会にふるさと見守り隊員を配置し、次の業務を行う。

- (1) 区域内の防犯に係る危険箇所の調査及び啓発活動
- (2) 区域内の防災に係る危険箇所の調査及び市への報告
- (3) 区域内の道路、道路施設、公園施設及び準用河川の防護柵等の点検並びに市への報告
- (4) 区域内の地区センター、警察、学校、防犯団体等への訪問並びに安全情報の交換

3 実施区域

中学校区等

芝園、奥田、大泉、東部、新庄、南部、堀川、山室、藤ノ木
岩瀬、和合、北部、水橋、三成
興南、月岡、大沢野地域、大山地域、細入地域
西部、呉羽、八尾地域、婦中地域、山田地域